

確定日（令和02 年 03 月 19 日）

事業コード	02020305		政策コード	02	政策名	社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略						
事業名	かがやく未来型中小企業応援事業		施策コード	02	施策名	中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上						
			指標コード	03	施策目標(指標)名	多様化する消費者ニーズや物流に対応した商業・サービス業の振興						
部局名	産業労働部	課室名	商業貿易課		班名	商業・創業支援班	(tel)	2244	担当課長名	安藤 雅之	担当者名	松嶋 亜紀
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和02年度～令和03年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 少子高齢化の進行や人口減少に伴い県内マーケットが縮小し、また、第4次産業革命が進展する中にあって、商業・サービス業の振興を図るためには、今後成長が見込まれる分野への進出や販路拡大、I o T等の先進技術を活用した生産性や付加価値の向上、新たな商品・サービスの創出を促進する必要がある。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 自社の強みやI o T等の先進技術を生かした新事業の創出を促進し、更なる成長を目指す中小企業を支援することにより、県内産業の活性化を図る。							
					(重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望							
2. 住民ニーズの状況 ① ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R01 年 09 月) ② ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ③ ニーズの具体的内容 県内中小企業から支援制度について相談を受ける中で、販路拡大や新技術の導入等を行う際の費用負担が大きいため、そういった取組に対する支援を求める意見が複数あった。					4. 目的達成のための方法 ① 事業の実施主体 県 ② 事業の対象者・団体 県内中小企業 ③ 達成のための手段 県内中小企業が行う自社の強みやI o T等の先進技術を生かした新事業の創出等の取組に係る経費の一部を補助する。							
					④ 比較した代替手段及び選択した手段の有効性 県内マーケットの縮小や第4次産業革命の進行等により社会情勢が大きく変化する中、県内産業の活性化を図るためには、自社の強みやI o T等の先進技術を生かした新たな取組を支援することが最も有効である。							
◎把握してない場合の理由及び今後の方針												
①理由												
②今後の方針												
5. 事業の全体計画及び財源												
順位	事業内記		左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	単位(千円) 全体(最終)計画
01	かがやく未来型中小企業応援事業		自社の強みやI o T等の先進技術を生かして行う新サービスの創出等の取組を支援する。			9,024	9,024	0	0	0	0	18,048
財源内記		左の説明			9,024	9,024	0	0	0	0	0	18,048
国庫補助金					0	0	0	0	0	0	0	0
県債					0	0	0	0	0	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源					9,024	9,024	0	0	0	0	0	18,048

